

クラウドでどのように会社を変えたのか

- 総合建設業オノコムが実践した現場 DX とは -

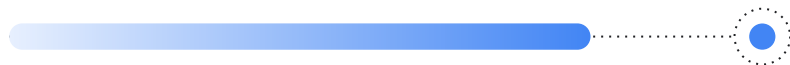
杉浦 裕介

株式会社オノコム Chief Digital Officer

松岡 純平

株式会社電算システム

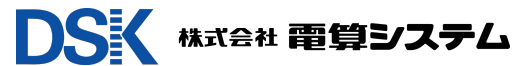




01

登壇者の紹介

株式会社電算システム



1967 年設立の老舗 Sier 企業

本社：岐阜県岐阜市・東京都中央区

売上高(電算HD 連結)：534 億円

従業員(電算HD連結)：935 名

事業内容：収納代行ビジネス **クラウドビジネス**

※ 2022 年 8 月の情報となります。



ファシリテーター

松岡 純平

株式会社電算システム 名古屋支社所属
アドバンスドサービス事業部

東海・北陸エリアを中心に、
Google Workspace を筆頭とした「Google Cloud
製品」を、企業や教育期間に向けて提案

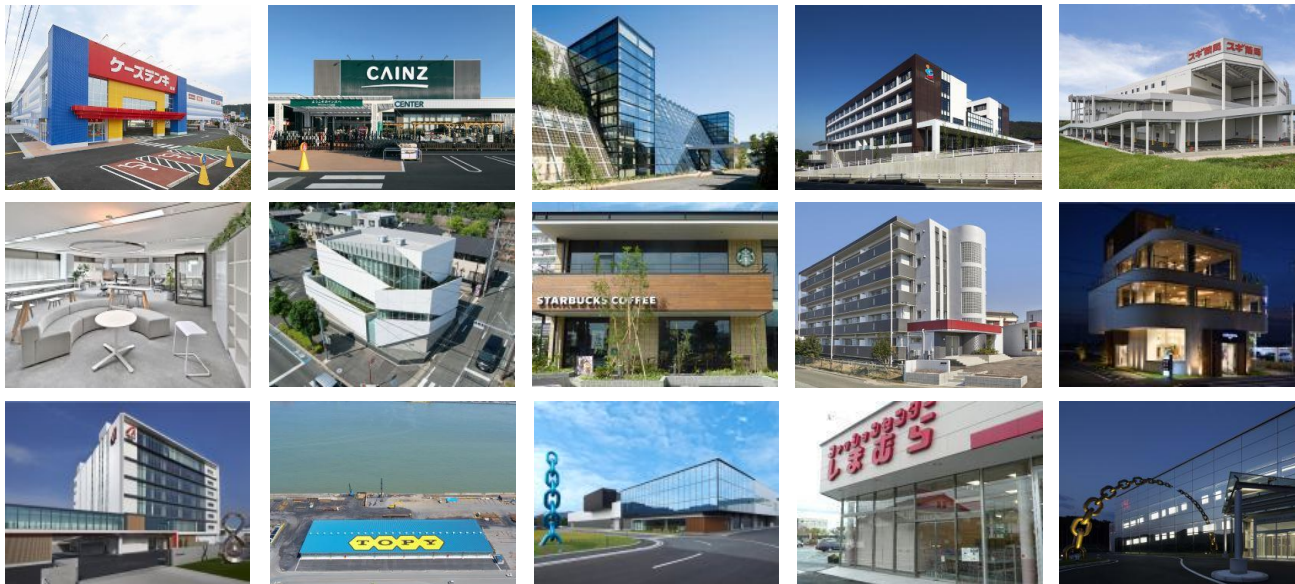
オノコム様にも Google Workspace・Glass
などの提供にて支援



株式会社オノコムとは

ONOCOM

株式会社オノコムは、愛知県豊橋市に本社を置き、住宅からマンション、オフィスビル、店舗、工場、病院等の医療空間まで、あらゆる種類の建築に携わる総合建築会社です。



社員の 2/3 は社外で仕事 → 建設業は昔からリモートワーク

拠点数

40 ~ 60 拠点

現場事務所

国内 8 拠点 | 海外 3 拠点

GWS アカウント数

オノコム単体 約 200 数

グループ 約 100 数

グループ全体 約 300 数

国内拠点



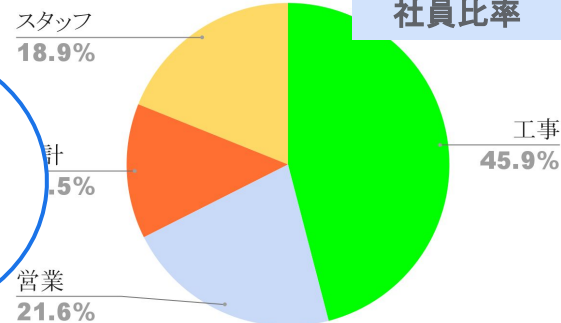
海外拠点



現場マップ



社員比率



Google Workspace 内で運用している届出や集計など1

休暇届

出張申請

経費精算

運転日報

稟議

飲食予定

勤務届

宿泊手当申請

工程日程共有

解決 & 提案リスト

修繕報告

工事完了報告

工事原価管理

重機作業計画

時間外勤務集計

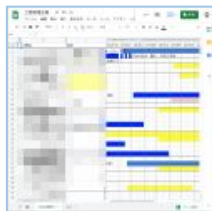
個人勤怠集計

業務別集計

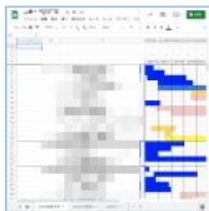
手当集計

Google Workspace 内で運用している届出や集計など2

工事日程集計



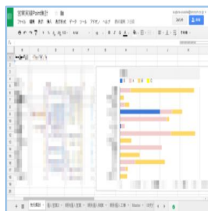
社員別日程集計



協力企業様評価集計



営業成績集計



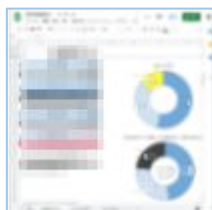
協力企業様原価集計



部署別勤怠集計



営業速報



工事余力予測



工事 Q & A

被服貸与申請

データ受信

社有車予約

修繕業務依頼

設計業務依頼

改善提案

会議室予約Bot

TEL 検索 Bot

修繕検索 Bot

Google Workspace 上に次々に社内文書が集まった理由

データが常に最新

ドライブにデータ入力



手間なく自動的に
最新の情報 GET

集計結果も常に最新

入力データが最新



集計値も最新

どこでも入力可能

端末選ばず入力



入力の負担が極端に少ない

ローコード開発

スプレッドシートだけで

リアルタイム集計

+

GAS を使えば
細かな集計も可能

結果として DX と呼ばれる仕組みになっていました



02 これまでの取り組みについて



デジタル化を進めるに至った背景

導入当初の状況



常態化していた問題

- データの鮮度/精度が良くない
- 勤務状況がふわっとしかわからない
- 会議、打合のコストが膨大
- パソコンが故障してデータが損失



デジタル化 & クラウド化により解決できる

建設業とクラウドの相性が大変よく、業務をクラウド化するだけでも効率化、改善可能と判断。

その中でも Google Workspace は特に守備範囲が広いため業務を Google Workspace 化するだけでも効率化、改善になると判断し、ひたすら推進し続けています。



社員に Google Workspace を活用しても らうために行った取り組み

3つの取り組み

現状把握

グループ含めても 300 人程度でしたので各自を訪ねて以下を行いました。

- IT 資産管理もかねて **全 PC に Chrome** をインストール
- Google サイトを利用した **Portal サイト**を作成し、**Chrome の起動時ページ**に設定

同時に PC スペックの把握&社員含めた全社的なデジタルへの解像度の確認を実施

Gmail とカレンダーの徹底と必要なマニュアル整備

まずは、Chrome 上での Gmail と Google カレンダーを利用することが第一と考え、Chrome をインストールしながら **Gmail & Google カレンダー**の利用方法を説明し利用を徹底してもらうようにしました。

使いづらいことや困っていることは **Portal サイト内**にマニュアルを作成し今でも日々更新しています。


気軽に質問できる環境の整備

デジタルに明るい、新し物好き、人望あり、に近い人を探し、その人へは手厚いサポート&その人があるといいなという機能は最優先で実装、を繰り返し、**身近に気軽に質問できる環境の整備**を心がけました。



**デジタル化で大変だったことは？
その大変だったことをどう乗り越えたか**

小さな変化から大きな変化へ！ループを回す仕組みを作成

- 
- 01 前向きな人の多い部署の業務一部をデジタル化
 - 02 業務作業手順変更という体で説明・マニュアル化
 - 03 効果がでた仕組みを徐々に横展開
 - 04 最終的に全社展開を目指す

デジタル化という言葉は使わず、業務の効率化としての展開

意識していること

- 隣の人が効率的になれば面倒と思っている人は進んで利用してくれるので**拡散が始まるまで地道に改良しながら運用**
- 数 % はデジタルにアレルギーのある人もおり、社内で後ろ指刺されても未だに既存ソフトのファイルを添付したり、Web 会議を嫌って些細なことでもその場に出かける人もいますが、**大勢に影響がなければそういった人に無理強いはいしない**



Google Workspace 利活用にあたり 自分たちで作成したもの

コーポレートメッセージは「なければつくる」 とりあえず作る → 試す → 改良 → 繰り返し

休暇届

出張申請

経費精算

運転日報

稟議

飲食予定

勤務届

宿泊手当申請

工程日程共有

解決 & 提案リスト

修繕報告

工事完了報告

工事原価管理

重機作業計画

時間外勤務集計

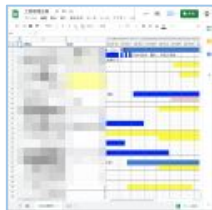
個人勤怠集計

業務別集計

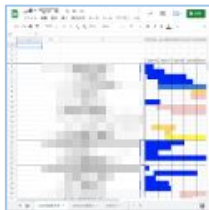
手当集計

何でも作る → 試す → 改良 → 繰り返し

工事日程集計



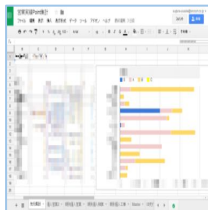
社員別日程集計



協力企業様評価集計



営業成績集計



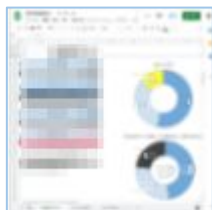
協力企業様原価集計



部署別勤怠集計



営業速報



工事余力予測



工事 Q & A

被服貸与申請

データ受信

社有車予約

修繕業務依頼

設計業務依頼

改善提案

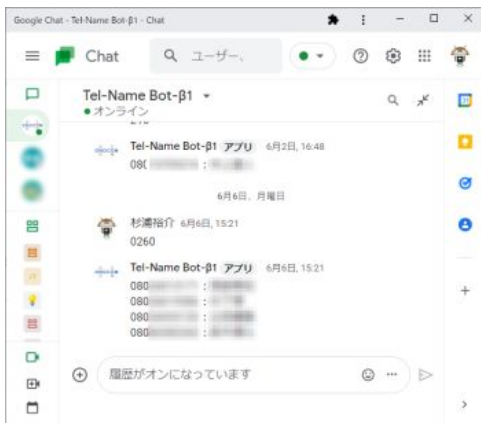
会議室予約Bot

TEL 検索 Bot

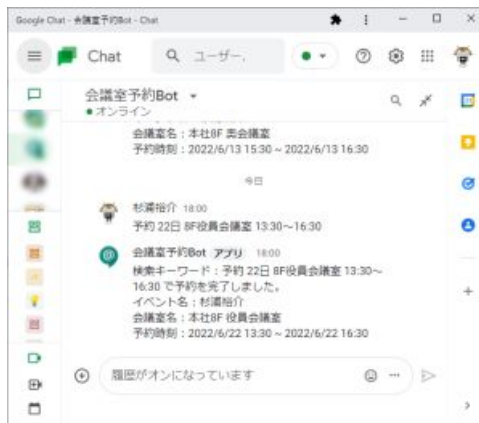
修繕検索 Bot

最近は ChatBot が流行っています

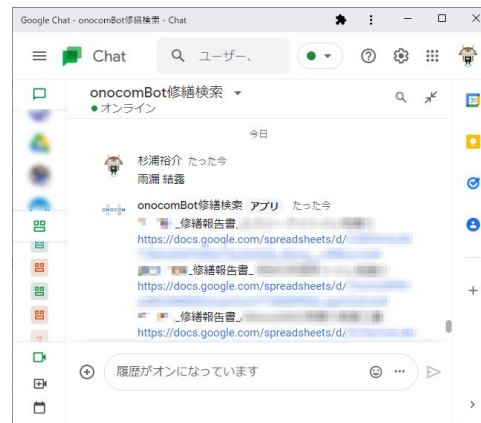
電話番号⇔名前検索 Bot



会議室予約 Bot



修繕報告書検索 Bot



内製化のための DX 人材育成



- GAS を覚えたい
 - マクロの記録を紹介
 - マクロから汎用化させるためにマクロの編集を案内
 - Web のサンプル(最近では ChatGPT)から汎用マクロ作成
 - 独自メニュー化
- GAS はローコードプログラムのため、オフィスソフトのマクロ作成経験があれば JavaScript の文法を覚える程度
- 既存のコードは一か所に集約してあり、誰でも自由に閲覧可能(各書類の GAS は 100 行 ~ 200 行程度のローコードプログラム)



Glass を使ってみた感想と気づき



交通費削減以外にも効果があった

BEFORE

遠方の現場まで移動し
現場のチェック、調査を行う

現場までの移動交通費と工数がかかっていた



AFTER

現場の作業員がGlassを使用し
現場の様子をWEB会議で報告

移動交費用・工数の大幅削減

装着者目線が把握でき、教育面
コミュニケーションで活躍

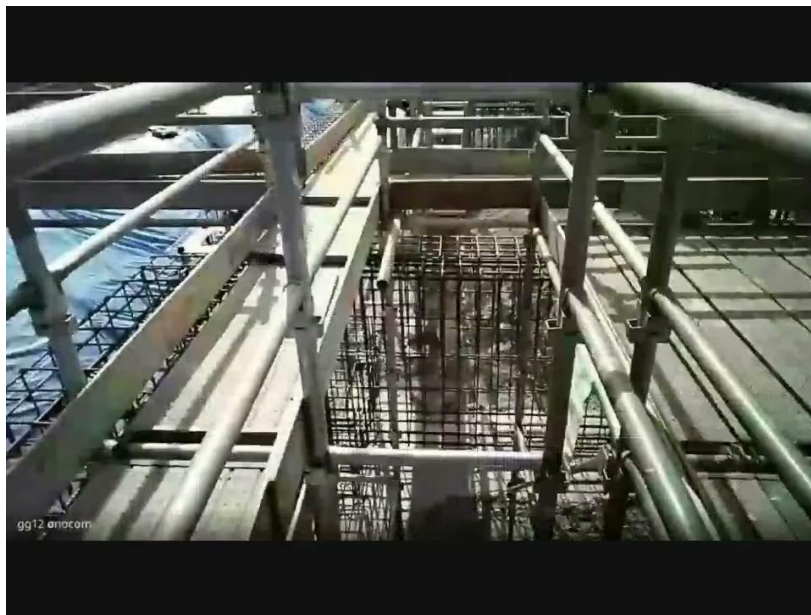
現場の見える化

何年間も現場の見える化の一環としてアクションカメラやスマホなどを利用しての現場の見える化を試す、テストデバイスごとに一長一短があり決定打に欠けている中、Glassを試したところ課題クリア

- Google Meet 時の視線と映像の一致
- ヘルメットから飛び出さずに安全
- 無線のため線がひっかかるなどの危険がない

また副次効果は、

移動時間の大幅削減と**新人教育利用**





**これから新たに挑戦したい
テクノロジー・サービスは？**

オノコムが挑戦したい新たなテクノロジー・サービス

1. AI を利用した業務サポート

既に画像 AI を利用した建物の意匠アイデア出しサポートを試し、今後は Chat 型 AI を利用した法令 FAQ など検討



2. デジタルツイン

建築データ 3D 化が進み、膨大化したデータを海外チームと連携する上で Google ドライブを使っています。



3. 電帳法へのクラウド利用

Google ドライブが JIIMA を取得したそうなので電帳法対応のスムーズな仕組みを作り始めてます。



4. Appsheet 活用

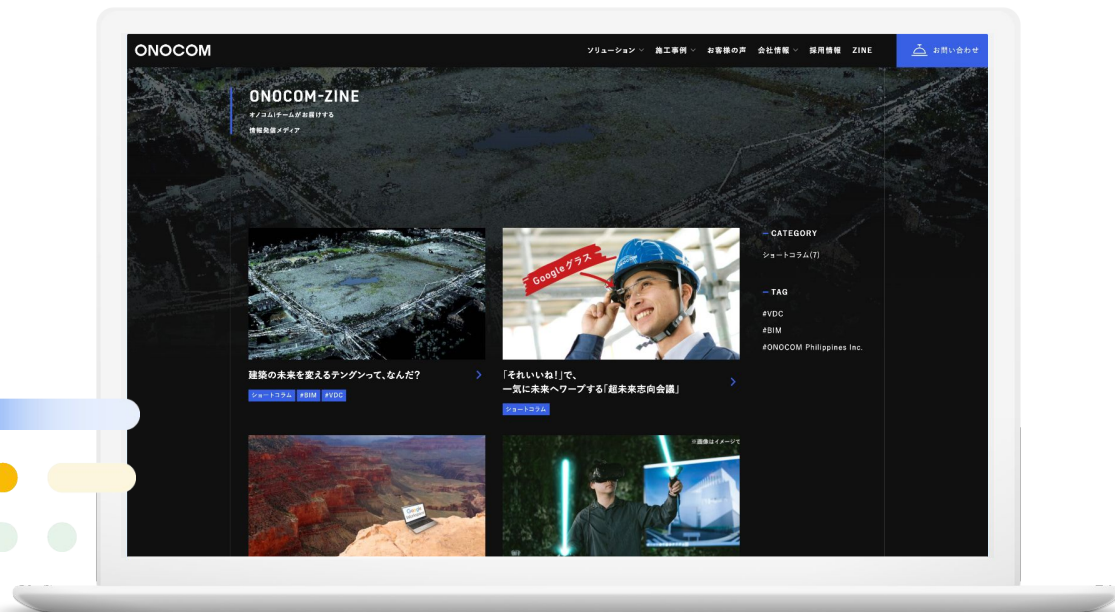
ノーコードツールを利用したスマホアプリもトライしていきたいです。



情報発信メディア ONOCOM - ZINE

オノコムではコーポレートメッセージ「**なければつくる**」のもと、お客様にご満足していただくための仕組みや技術を柔軟に取り入れています。そんな建築会社という枠に囚われない等身大のオノコムを、おもしろおかしく、結論を言わず、完結もしない読み物として発信している ZINE というコンテンツがありますので、お立ち寄りいただけますと幸いです。

<https://www.onocom.co.jp/zine/>





Thank you.